

# テーマごとの問題意識

## 1 興味を引き出す工夫・情報の充実 図書館に興味を持たせるための工夫

現状・取組	区の問題意識
<p><b>【利用状況】</b> H31.3.31 時点</p> <p>○来館者数 約 435万人/年</p> <p>・利用登録者数 約20万人</p> <p>うち実利用者約3割(貸出ベース)</p> <p><b>【各種事業】</b></p> <p>季節やテーマごとに各館で実施</p> <p>○乳児・児童向け事業</p> <p>ブックスタート、お話会等</p> <p>○一般向け事業</p> <p>健康づくり、環境、子育て支援等</p>	<p><b>配架、レイアウト等の取組・工夫</b></p> <p>思わず本を手に取りたくなり、これを知りたかった、こんな面白い情報があるんだと思わせるためにどんな取組・工夫ができるか。</p> <p>○<b>専門情報の充実は必要か</b></p> <p>他自治体では立地を生かしてビジネス情報や医療情報を専門に扱う図書館が誕生。住宅都市である練馬区の図書館において、専門情報を充実させるとしたら、どのようなテーマがよいか。</p> <p>○<b>肥大化する図書館の役割の整理</b></p> <p>他部署でも同様の事業を実施している中で図書館だからこそ行った方がよい事業(講座や催し物)の分野は何か。</p>

## 2 誰もがいつでも利用できる 環境に左右されない新しい利用方法

現状・取組	区の問題意識
<p><b>【環境整備】</b></p> <p>○12館、1分室、6受取窓口</p> <p><b>【サービス】</b></p> <p>○セルフ貸出機はあるが予約資料は利用不可</p> <p>○ICタグ装備は南田中図書館資料のみ</p> <p>○一部の資料をデジタルアーカイブ化</p> <p>○電子書籍は未導入</p>	<p>○<b>受取窓口の増設</b></p> <p>増設は困難だが、学校図書館を活用するなど代替案として何か方法があるか。</p> <p>○<b>非接触型・非来館型サービスの導入</b></p> <p>一律に全ての分野を電子書籍とすることは困難。電子化する資料の分野や対象をどう考えるか。</p>

### 3 図書館の特色を磨く

#### 特徴を打ち出し強みを強化

現状・取組	区の問題意識
<p><b>【各館の特徴】</b>            詳細は既配布資料(第2回の資料3 2)を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○併設施設や近隣施設と連携した企画展示等</li> <li>○地元ゆかりの著名人のコーナー設置</li> <li>○地域等と連携、地域の特性に応じた事業</li> <li>○蔵書は「資料収集方針」に基づき管理</li> </ul> <p>館ごとの収集テーマはあるが、蔵書構成比率は均質的。</p>	<p>○特色の出し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顕著な特色をより専門館的に打ち出したいと考えているが、その場合蔵書構成や事業などが他館と異なることが想定されるが、課題は何か。</li> </ul>

### 4 図書館を身近に感じてもらう

#### 取組のPR・アウトリーチ等の充実

現状・取組	区の問題意識
<ul style="list-style-type: none"> <li>○区報、図書館HP、各種チラシ等での周知</li> <li>○元々興味がない人にはPRが届いていない。</li> </ul>	<p>興味がない人達には従来のPR方法では不十分</p> <p>図書館非利用者に身近に感じてもらうためにどんなことができそうか。</p>

### 5 居心地のよい空間を作る

#### だれもが気軽に利用できる空間を創出

現状・取組	区の問題意識
<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館は静かに利用するものという前提がある。子連れやグループが利用しづらい。</li> <li>○カフェなど本を読みながら寛げるスペースはない。</li> <li>○開架書架がいっぱいでゆとりがない。</li> </ul>	<p>○様々な目的をもつ利用者への対応</p> <p>静かに本を読みたい人、話し合いながら学びたい人など利用目的は様々。それぞれの利用目的に沿った居心地のよさを創出するための工夫は何が考えられるか。</p>